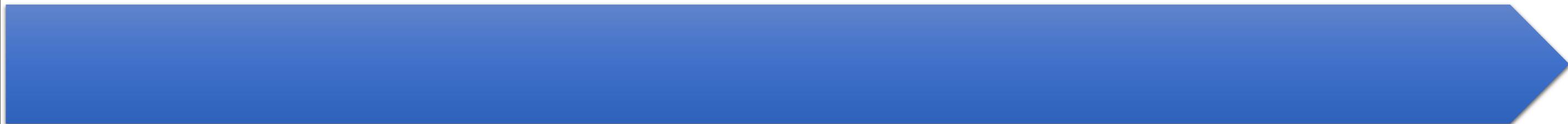


# 第7次総合計画

## 政策・施策シート

【ひと】



# 【ひと】子ども未来政策

政策の望まれる姿	社会指標		政策（部局）の使命
	現状値 (※H30)	目指す方向	
子どもを安心して産み、楽しく育て、子どもが健やかに成長できるまち	合計特殊出生率		子どもが一人の人格として尊重され、最善の利益を享受しながら、健やかに成長できることを目的としています。
	1.71	↗	
	子ども女性比		
	0.22470	↗	

施策名	KPI（重要業績評価指標）						主な取組	次年度に向けた主な改善の方向性
	R3目標値	R3実績値	R3達成度 (%)	参 考				
	R3目標値	R3実績値	R3達成度 (%)	R3目標値	R4目標値	R5目標値		
【施策1】 母子保健の推進と安心な育児環境の充実	乳幼児健康診査受診率【%】						●思春期の子ども対策事業  ●母子保健医療サービス事業  ●安心出産支援事業	【重点化】 ●妊産婦への感染症対策相談支援事業 新型コロナウイルス感染拡大防止とポストコロナ時代への対応として、 <b>里帰り出産が困難な妊産婦に対する育児等支援サービス、オンラインによる妊婦相談等の各種取組の重点化</b> を図ります。  ●妊娠・出産包括支援事業 妊娠・出産に係るニーズの多様化やコロナ禍の影響等を考慮する中で、母子への切れ目ない支援と育児負担の軽減を実現するために、 <b>妊婦健診や産後ケア事業等の取組(多胎妊産婦への支援拡充やハイリスク妊婦への支援の充実等)</b> に係る重点化を図ります。
	<b>96.0</b>	<b>94.6</b>	<b>98.5%</b>	96.0	96.0	96.0		
	KPI達成状況の分析							
	●「健康診査事業」を始め、ほぼ大半の事業について、関連法令の趣旨を踏まえたうえで、適切かつ計画的な実施・運用を図っており、その効果の表れであると捉えています。官民協働の方向性再							
【施策2】 地域での子どもと子育ての支援	乳幼児福祉医療費受給資格の認定率【%】						●福祉医療支給事業  ●児童扶養手当支給事業  ●児童手当支給事業	【重点化】 ●福祉医療支給事業 令和4年10月から子育て家庭の負担の軽減や市民の利便性向上に加えウィズコロナの視点から、 <b>小中学生やひとり親家庭等に対し現物給付を開始するため、スムーズな実施と周知に努めるとともに</b> 、少子化対策に資するその他の事業との有効な補強・連携策について、引き続き検討を深めます。
	<b>100</b>	<b>98.5</b>	<b>98.5%</b>	100	100	100		
	KPI達成状況の分析							
	●母子保健法や子ども・子育て支援法等の法令に基づき、KPI向上に広範かつ直接的に寄与し優位である「福祉医療支給事業」を始め、ほぼ大半の取組について、関連法令の趣旨を踏まえたうえで、適切かつ計画的な実施・運用を図っており、その効果の表れであると捉えています。							
【施策2】 地域での子どもと子育ての支援	地域子ども・子育て支援事業の平均利用回数【回】						●名切地区官民連携事業  ●地域子育て支援センター事業  ●子育て支援啓発事業  ●子育て環境づくり推進事業  ●ファミリーサポートセンター事業	【重点化】 ●名切地区官民連携事業 「地域子育て支援センター事業」等のほか、政策を支える包括的な事務事業群の「次世代育成推進事業」における <b>市民目線での情報発信等の取組との効果的な連携により、施設の認知度向上及び利用者の増</b> を図ります。  ●子育て支援啓発事業・児童福祉週間事業 地域版子育てアイデア実現化奨励制度の運用や市民目線での情報発信等の取組と効果的な連携を通じ、 <b>地域コミュニティにおけるボランティア団体等による子育て支援の広がり</b> を推進するなど、身近な地域での人財育成・活動の実践を図ります。  ●ファミリーサポートセンター事業 課題と捉えている全市的な視点での普及促進のための対策として、利用状況等の面で低調が見られる周辺地域において、 <b>預かりの体験会等を通じ、事業自体の周知を強化するとともに、対人援助の経験がある方に子育て支援に関する講座への参加を促し事業に対する理解を得るよう努める</b> など、依頼及び提供の両面に係る会員の掘り起こしを図ります。
	<b>44</b>	<b>24.0</b>	<b>54.5%</b>	44	47	50		
	KPI達成状況の分析							
	●地域での子どもと子育ての支援を推進するための施策展開においては、子ども・子育て支援法等の法令に基づき、KPI向上に広範かつ直接的に寄与し上位に位置する「地域子育て支援センター事業」を始め、ほぼ全事業について、関連法令の趣旨を踏まえたうえで、適切かつ計画的な実施・運用を図っております。  ●令和3年度においては新型コロナウイルス感染症の拡大により、地域子育て支援センター等における活動について制限をかけざるを得ない状況にあったため、利用が伸びない状況となりました。							

## 【ひと】子ども未来政策

政策の望まれる姿	社会指標		政策（部局）の使命
	現状値 (※H30)	目指す方向	
子どもを安心して産み、楽しく育て、子どもが健やかに成長できるまち	合計特殊出生率		子どもが一人の人格として尊重され、最善の利益を享受しながら、健やかに成長できることを目的としています。
	1.71	↗	
	子ども女性比		
	0.22470	↗	

施策名	KPI（重要業績評価指標）					主な取組	次年度に向けた主な改善の方向性	
	R3目標値	R3実績値	R3達成度 (%)	参考 R3目標値 R4目標値 R5目標値				
【施策3】 幼児教育・保育の充実	保育所等待機児童数（10月1日現在）【人】					●私立保育所・幼稚園等運営事業 ●保育料収納事務事業 ●保育環境改善事業 ●保育所看護師等配置促進事業	【重点化】 ●「佐世保市子ども・子育て支援事業計画」(令和2年度から6年度)における教育・保育の量に係る需給については、既存施設の範囲で一定のバランスが保たれているものと整理していますが、 <b>地域的な量の見込みと確保方策のバランス等といった事象にあたっては、教育・保育環境の整備におけるソフト及びハード両面での対応を視野に入れながら、適切かつ柔軟な運用</b> が求められます。ソフト面では、「保育士確保緊急対策事業」について、必要に応じ、適時要件の見直しを行うとともに、ハード面では、「保育所施設整備事業」等について、子ども・子育て会議分科会での意見等を参考に整理した「保育所等施設整備指針」を踏まえ、年次ごとのローリングを通じた重点的かつ計画的な対応を図ります。  ●私立保育所看護師等配置促進事業 乳児担当の看護師または保健師の配置促進にあたり、年次的に事業内容の見直し等を進めながら、 <b>医療的ケア児も含め障がい児保育等における量及び質の両面での拡充</b> を図ります。  ●私立保育所・幼稚園等運営事業 幼児教育・保育を行う施設等は、需要に対する供給量の確保や幅広いニーズに対応するなど、利用する市民の立場を考慮したきめ細やかな支援を行います。特に、幼児教育・保育における質の向上のための取組については積極的に推進します。	
	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>100%</u>	0	0			0
	KPI達成状況の分析							
	●「私立保育所等運営費」や「私立幼稚園等運営費」を始め、ほぼ全ての取組について、児童福祉法や子ども・子育て支援法等の法令等に基づき、適切かつ計画的な実施・運用を図ってきていることから、その効果の表れであると捉えています。							
	幼児教育・保育の量の確保率（10月1日現在）【%】					●一時預かり事業 ●幼児教育センター管理運営事業 ●私立保育所・幼稚園等運営事業		
	<u>100</u>	<u>96.3</u>	<u>96.3%</u>	100	100			100
KPI達成状況の分析								
●「私立保育所等運営費」や「私立幼稚園等運営費」を始め、ほぼ全ての取組について、児童福祉法や子ども・子育て支援法等の法令等に基づき、適切かつ計画的な実施・運用を図ってきていることから、その効果の表れであると捉えています。								

# 【ひと】教育政策

政策の望まれる姿	社会指標		政策（部局）の使命
	現状値 (※H30)	目指す方向	
学校教育及び社会教育を充実し、誰もが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合うことができるまち	市民1人あたりの生涯学習に関わった回数	8.8回/人	学校教育や生涯学習環境の場において、子どもたちを含む市民が生涯を通じて自らが学び、文化、スポーツ等に親しむことができる環境の充実を図ることにより、生きがいに満ちた暮らしを実現します。

施策名	KPI（重要業績評価指標）						主な取組	次年度に向けた主な改善の方向性				
	R3目標値	R3実績値	R3達成度 (%)	参 考								
				R3目標値	R4目標値	R5目標値						
【施策1】 学校教育の充実	全国学力調査結果【%】						<ul style="list-style-type: none"> <li>●教職員資質向上事業</li> <li>●基礎学力学習意欲向上推進事業</li> <li>●教育センター事業</li> <li>●小・中学校施設整備事業</li> </ul>	<b>【重点化】</b> ●特色ある学校学校づくり対策事業、教職員資質向上事業 スマート・スクール・SASEBO構想を核とした個別最適な学びと協働的な学びの実現を実現するため、 <b>学校におけるICT活用の目的や理念の共有、教職員の意識改革、ICTの実践力を高める取組の充実</b> を図ります。また、※MEXCBT等の活用やデジタル環境の一層の整備を進め、 <b>オンラインを活用した学びの促進</b> を図ります。併せて、市立小中学校4校を研究校に指定し、ICTを活用した授業や家庭学習の在り方に関する先進実践を進めることで、市内学校への情報共有を図り、ICTを活用した学びの充実を促進します。※MEXT:文部科学省の英語名称「Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology」※CBT:「Computer Based Testing」の略称で、コンピュータを用いて試験を行うシステム  ●基礎学力・学習意欲向上推進事業 令和4年度から2名の専任指導員体制をとり、児童生徒の「学力・学習状況」の向上を図るため、 <b>管理職の組織マネジメント力及び教員の授業改善に向けた指導力を広げる拠点校方式を新たに構築し、各学校の主体的な取組、実践の深化</b> を図ります。				
	<b>98.0</b>	<b>94.2</b>	<b>96.1%</b>	98.0	99.0	100						
	KPI達成状況の分析											
	●平成29年度から令和3年度までの4名の学力向上専任指導を配置し、市立全小・中学校を110回訪問し、具体的な授業の在り方等の学力向上の取組を指導したところ、特に小学校算数科、中学校数学科において伸びが見られています。この伸びを確かなものとするために、今後も、全市的な教師の授業改善への意識の向上や指導技術向上のための支援指導の継続が必要と考えています。											
	全国体力・運動能力調査結果【%】								<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校体育実技指導研修事業</li> <li>●小・学校体育推進事業</li> </ul>	<b>【重点化】</b> ●学校体育実技指導者研修事業 <b>体育学習専門の講師による、体育・スポーツに対する学習指導及び実技指導</b> に加え、「 <b>からだを動かすことは楽しい</b> 」ということを体感できる <b>授業づくりや指導方法の研修会</b> を行い、より一層の充実を目指す。  ●中学校体育推進事業（中学校課外体育活動補助金・中学校運動部活動外部指導者補助金） 運動部活動において、地域人材を確保・マッチングする仕組みの構築や、地域人材に対する研修、平日と休日の一貫指導のための連携、協力体制の構築など、 <b>本市のモデルづくりを見据え、県内外の先進的な事例を研究</b> します。		
	<b>99.2</b>	<b>97.3</b>	<b>98.1%</b>	99.2	99.5	100						
	KPI達成状況の分析											
	●全国や県と同様に体力は大きく低下していますが、令和2年度が未実施のためにデータがないので、コロナ禍の影響によるものかどうかは次年度の結果を見ながら、継続して検証する必要があります。											
	全国学習状況調査児童生徒質問紙結果【%】										<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育相談活動事業</li> <li>●生徒指導充実事業</li> <li>●体験学習・環境教育充実事業</li> <li>●人権教育推進事業</li> </ul>	<b>【重点化】</b> ●教育相談活動事業 年々増加・多様化する困り感をもつ児童生徒やその保護者、教職員からの相談に対して、きめ細やかな支援を提供できる <b>体制整備を進めます</b> 。 通級に心的ストレスを伴う不登校児童生徒の居場所づくりを図るため、サテライトあすなろ教室を拡充し対応します。  ●生徒指導充実事業 <b>生徒指導の専門的な知見を有したスクールカウンセラー等の専門職員の活用の充実</b> に努め、多様化・複雑化する児童生徒が抱える課題を支援します。  ●体験学習・環境教育充実事業 児童生徒の豊かな心の醸成とふるさと佐世保を愛する心を育むことを目的として、ふるさと佐世保の自然や文化、歴史を学ぶ感動体験学習の充実を図ります。
	<b>101.3</b>	<b>100.7</b>	<b>99.4%</b>	101.3	101.6	102.0						
KPI達成状況の分析												
●児童生徒の不登校者数は、全国同様に本市においても増加傾向となっており、複雑化している児童生徒の困り感やニーズへの対応が喫緊の課題となっています。												

# 【ひと】教育政策

政策の望まれる姿	社会指標		政策（部局）の使命
	現状値 (※H30)	目指す方向	
学校教育及び社会教育を充実し、誰もが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合うことができるまち	市民1人あたりの生涯学習に関わった回数	8.8回/人	学校教育や生涯学習環境の場において、子どもたちを含む市民が生涯を通じて自らが学び、文化、スポーツ等に親しむことができる環境の充実を図ることにより、生きがいに満ちた暮らしを実現します。

施策名	KPI（重要業績評価指標）						主な取組	次年度に向けた主な改善の方向性		
	R3目標値	R3実績値	R3達成度 (%)	参 考						
				R3目標値	R4目標値	R5目標値				
<b>【施策2】</b> <b>豊かな心を育むまちづくり</b>	<b>放課後子ども教室等に携わった大人の人数【人】</b>						<ul style="list-style-type: none"> <li>●学社融合推進事業</li> <li>●家庭教育推進事業</li> </ul>	<b>【重点化】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学社融合推進事業 より多くの子どもや地域住民に参画してもらうため、また、担い手不足の解消に向けて、チラシ、ホームページなどのSNSを活用した情報発信を行い、放課後子ども教室や地域未来塾など、地域学校協働活動の啓発に取り組みます。地域の教育力を活用し、子どもたちの基礎学力の向上と学習習慣の定着化、社会性や規範意識、コミュニケーション能力の向上を図るための学習支援である地域未来塾について、他地区での展開が可能となるような方策についても検討を進めます。</li> <li>●家庭教育推進事業 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い在宅時間が増加し、家庭教育がより重要になってきています。コロナ禍をはじめとする社会の変化に対応した効果的な家庭教育支援の取り組みを行っていくため、メディア安全指導員によるメディア講座や長崎ファミリープログラムを活用した家庭教育講座など、より効果的に利用してもらえるよう周知・啓発に努めます。</li> </ul>		
	<b>24,000</b>	<b>6,279</b>	<b>26.2%</b>	24,000	24,000	24,000				
	<b>KPI達成状況の分析</b>									
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新型コロナウイルス感染症拡大により、不要不急の外出自粛や学校休校などの影響を受け、事業自粛が増えたため目標値に大きく届きませんでした。しかしながら、事業に関わる人材の掘り起こしのため、市内大学への協力要請や各種研修を通じ参画意欲の醸成を図ることにより担い手不足解消の取り組みを行いました。</li> <li>●子育て講座などの実施においては、感染症対策を講じたうえで講座を複数回に分散したり、ウェブ会議サービスを活用した非接触型での講座の実施を模索するなど、主催者及び講師と開催に向けた協議・検討を行いました。</li> </ul>									
	<b>健全育成事業への参加者数【人】</b>								<ul style="list-style-type: none"> <li>●青少年教育事業</li> <li>●青少年非行防止推進事業</li> <li>●徳育推進事業</li> </ul>	<b>【重点化】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●青少年教育事業 より活動しやすい体制づくりを進める上での「地区自治協議会と各地区育成会との合流」や「コロナ禍における活動活性化」などの課題について、青少年育成連盟との協議・連携を深めます。</li> <li>●徳育推進事業 全市的に配布している徳育推進カレンダーについては、市民が親しみやすい佐世保市の風景を採用するなどデザイン刷新することにより、「徳育」の周知を図る重要な広報媒体として、効果的に活用していきます。</li> <li>●非行防止推進事業 青少年教育センターの青少年非行対策に関する機能の見直し及び子育て機関とも連携した幅広い教育支援機能の充実を、関係機関・関係団体等との協議を重ね、改善を進めていきます。</li> </ul>
	<b>26,500</b>	<b>8,782</b>	<b>33.1%</b>	26,500	26,700	27,000				
	<b>KPI達成状況の分析</b>									
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、各地区育成会の事業実施が困難な状況となり参加者数が減少しました。しかしながら、感染症対策を講じ佐世保市青少年育成連盟の会議を継続し開催するなど、コロナ禍における健全育成活動の今後について協議・情報交換を行いました。</li> <li>●広い世代への周知する目的で開始した「まちなか徳育標語コンクール」の応募総数が、実施方法の変更等により令和元年度から半減したことから、周知方法が課題となっています。しかしながら、徳育推進フォーラムの開催については、無観客で実施した内容を動画配信サービス（YouTube）で公開するなどKPIに寄与する新たな取り組みを行いました。</li> </ul>									

# 【ひと】教育政策

政策の望まれる姿	社会指標		政策（部局）の使命
	現状値 （※H30）	目指す方向	
学校教育及び社会教育を充実し、誰もが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合うことができるまち	市民1人あたりの生涯学習に関わった回数	8.8回/人	学校教育や生涯学習環境の場において、子どもたちを含む市民が生涯を通じて自らが学び、文化、スポーツ等に親しむことができる環境の充実を図ることにより、生きがいに満ちた暮らしを実現します。

施策名	KPI（重要業績評価指標）						主な取組	次年度に向けた主な改善の方向性				
	R3目標値	R3実績値	R3達成度 （%）	参 考								
				R3目標値	R4目標値	R5目標値						
【施策3】 生涯学習・生涯スポーツの充実	生涯学習事業への参加者数【人】						<ul style="list-style-type: none"> <li>●生涯学習推進事業</li> <li>●英語シャワー事業</li> <li>●針尾送信所保存整備事業</li> <li>●文化財の調査・保護・活用事業</li> <li>●文化財展示施設等管理運営事業</li> </ul>	<p><b>【重点化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●生涯学習推進事業 より多くの方に生涯学習の機会を持ってもらえるよう、チラシやホームページ、SNS（ソーシャル・ネット・ワーキングサービス）を活用した情報発信を行い、生涯学習推進事業の啓発に取り組みます。 コロナ禍の中で外部研修派遣を継続するため、積極的にオンラインを活用した参加を促すなど、職員の資質向上について引き続き促進を図ります。</li> <li>●英語シャワー事業 「英語で交わるまちSASEBOプロジェクト」を一層推進させるため、特に、新しい街の魅力の向上とグローバル人材の育成を目指した事業に取り組みます。</li> <li>●文化財の調査・保護・活用事業 「立神広場整備活用事業」において立神広場を日本遺産「鎮守府」の拠点施設となる歴史公園の整備について重点化を図ります。 「楠本端山旧宅保存整備事業」においては針尾地区に所在する県指定文化財「楠本端山旧宅」を令和4年度から計画的に保存改修を行うことで、文化財の保存・活用について重点化を図ります。</li> </ul>				
	164,000	97,939	59.7%	164,000	164,000	164,000						
	KPI達成状況の分析											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、特に出前講座並びに生涯学習ボランティア講師派遣事業の開催自粛が相次ぎ、減少となりました。</li> <li>●英語シャワー事業においては、事業の中止や縮小により目標値には届かなかったものの、SNSを利用した情報発信や、事業の周知のため動画配信サービス（YouTube）を活用し、活動内容の映像配信を行いました。加えて感染予防対策に努め事業を実施することができ、英語によるコミュニケーションに特化した機会を市民に提供することができました。</li> </ul>											
	生涯学習拠点施設の利用者数【人】								<ul style="list-style-type: none"> <li>●地区公民館活性化事業</li> <li>●地区公民館管理運営事業</li> <li>●図書館運営事業</li> <li>●総合教育センター事業</li> <li>●少年科学館事業</li> </ul>	<p><b>【重点化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●コミュニティセンター活性化事業 コミュニティセンターが主催する講座やサークル活動・地域活動など市民活動の手法を研究・共有することを目的に、内部研修の充実及び外部研修への積極的な派遣を行います。 ニーズを的確にとらえた講座や活動を提供するため、職員の社会教育的資質の向上を目指し、社会教育主事講習への積極的な派遣を行います。</li> <li>●図書館運営事業 コロナ禍でイベントや講座を行うにあたり、リアルとオンラインを融合した新しいイベントの形に挑戦し、参加者や利用者との交流の機会を広げ、利用者の増加につながるよう努めます。</li> </ul>		
	1,513,000	926,738	61.3%	1,513,000	1,515,000	1,517,000						
	KPI達成状況の分析											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新型コロナウイルスの影響を受け利用者数の減少により、目標を達成することができませんでした</li> <li>●KPI向上に向けては、コミュニティセンター施設の利便性向上を目的とした改修やオンラインを活用した主催講座の周知・企画立案の研究、コミュニティセンター職員への研修を行うなど、施設利用者の増加に寄与する取り組みを進めます。</li> </ul>											
	拠点スポーツ施設の利用者数【人】										<ul style="list-style-type: none"> <li>●体育施設整備事業</li> </ul>	<p><b>【重点化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●スポーツ振興課の全事務事業 R4年度に策定したスポーツ推進計画の基本理念、ビジョン及びミッションに基づき、計画の目標達成のため、再編・再構築に加え、新規事業を立案・実施していきます。 また、スポーツ推進計画の策定に伴い、スポーツ振興課とスポーツ協会との役割を再構築し、スポーツ振興課は、スポーツ推進計画の更新及び進捗管理とスポーツ政策の企画立案に特化する方向に組織のあり方を見直します。</li> </ul>
	532,000	373,816	70.3%	532,000	533,000	534,000						
KPI達成状況の分析												
<ul style="list-style-type: none"> <li>●R2年度よりも改善はしたものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を継続して行ったため、令和3年度においてもスポーツ施設の休場や、開場後も感染リスクの低減のため、多くの大会が中止になったことなどにより、利用者数が落ち込んだものです。</li> </ul>												